

2008年4月1日付新入社員の入社式について

1. 新日鉱グループの中核事業会社である株式会社ジャパンエナジー(本社:東京都港区虎ノ門二丁目、社長:松下功夫)および日鉱金属株式会社(本社:東京都港区虎ノ門二丁目、社長:岡田昌徳)は、4月1日、次のとおり新入社員を迎えました。

		ジャパンエナジー	日鉱金属
大学院・大学卒社員		29(29)	35(36)
(内訳)	事務系	17(17)	12(13)
	技術系	12(12)	23(23)
工専卒社員		3(1)	2(0)
高校卒社員		41(25)	44(28)
計		73(55)	81(64)

※()内は昨年度実績。

2. 本日、両社社長は、入社式でそれぞれ訓示を行いました。その要旨は次のとおりです。

・ジャパンエナジー社長 松下功夫

当社は、「一面成長戦略、一面徹底効率化」を基本として、石油資源開発、石油精製販売および石油化学という3事業部門のバランスがとれた業界屈指の競争力を持つ企業を目指している。新入社員の皆さんには次のことをお願いしたい。

- 次の時代を意識したうえで、仕事に取り組んで欲しい
 時代は常に変化し、そのスピードは増している。過去の成功体験がそのまま通じる時代ではなく、「現状維持」とは「退歩」を意味すると言っても過言ではない。世界の様々な情報に対してアンテナを張り巡らし、これからの時代はどうなっていくのか、自分なりの考えや見通しを持ちながら、常に創意工夫を怠らず、進取の精神を持って仕事に取り組んで欲しい。
- 目の前の仕事に、ひたむきに、そして真剣に取り組んで欲しい
 これからの人生の中で、仕事の占める割合が大きくなる。最初は自分の意に沿わない仕事であっても、真正面から取り組んでいくうちに、その重要性や面白さがわかって、後々役に立つはずである。そのように心がけながら仕事に取り組み、仕事ひいては人生を意義あるものにしてほしい。
- 「CS」および「CS経営」という言葉をきちんと理解して欲しい
 当社は、お客様満足(CS)を徹底的に追求し、それを実現することによってJOMOブランドの価値向上を目指している。当社の社風である垣根をはずした自由闊達な議論に参加していただき、一緒になってお客様や社会から高い信頼を得られるJOMOブランドを築こう。
- よき企業人である前に、よき社会人たれ
 市民としての倫理観や正義感が欠如しては、真に優れた企業人として大成することはできない。自分の仕事が社会のためになっているかどうか、常に自問自答しながら、仕事に取り組んで欲しい。

・日鉱金属社長 岡田昌徳

当社は4月1日に全社的な組織改正を行い、総合非鉄メーカーとして、銅という金属を背骨として、上流の資源開発から中流の金属製錬、下流の環境リサイクル・電子材料・金属加工に至る一貫した各事業をグローバル市場において、それぞれ骨太にバランスよく成長させるための体制の整備・強化を図ることとした。当社としては、国際優良企業として持続可能な成長に向けた取り組みを更に強かに押し進めていくこととしている。

この成長戦略を現実のものとしていくための原動力は人材であり、変革していく勇気や目標を達成する情熱である。そのためにも皆さんには次の4点を心がけていただきたい。

- これから皆さんの生活時間の大部分を会社生活が占めることになる。その中で皆さんの人生をより意義深いものとするべく、自分の仕事に対する価値を見出していきたい。

2. 企業も社会の一員である。社員も高い職業倫理観を持って業務に取り組むことが重要であり、皆さんにも早期にこの重要性を認識していただき、当社のCSR活動の一端を担っていただきたい。
3. 企業は高い専門性を持った多様な個性の集合体であり、その中で醸成されたValueが我々のビジネスの源泉である。Face to Faceで話し合うことを含めて積極的なコミュニケーションを深めて新たなビジネスチャンスを発掘していただきたい。
4. 当社はグローバル・カンパニーとして海外において事業展開を進めており、我々は海外従業員をリードすべき立場にある。語学力は必須であるとともに、相手国の文化・慣習に敬意をもって接し、真の国際感覚を身につけていただきたい。

以上